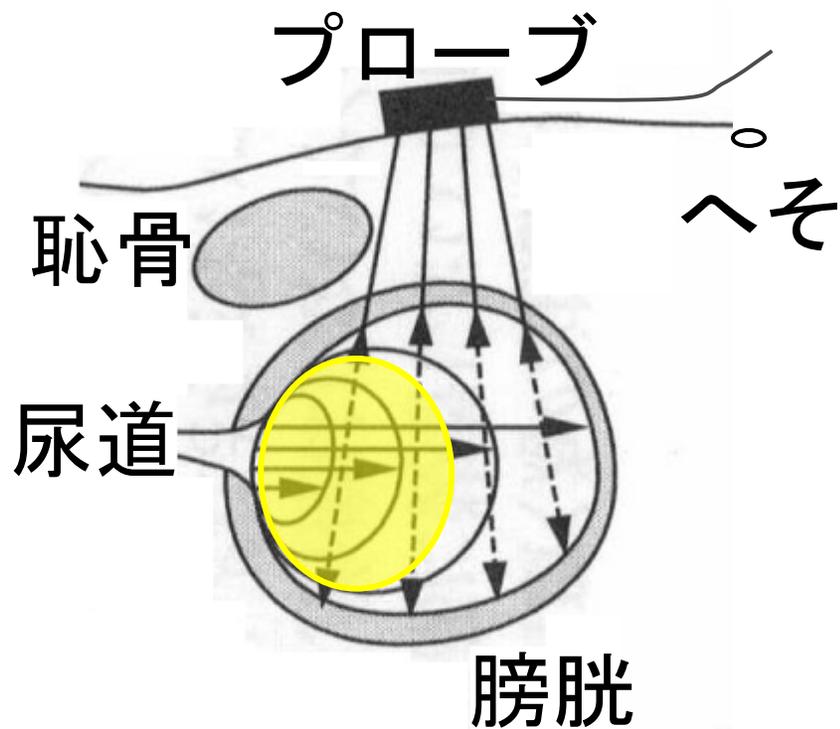
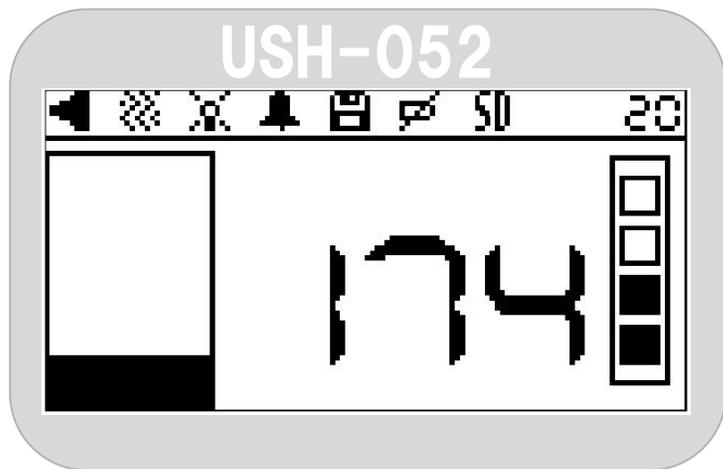


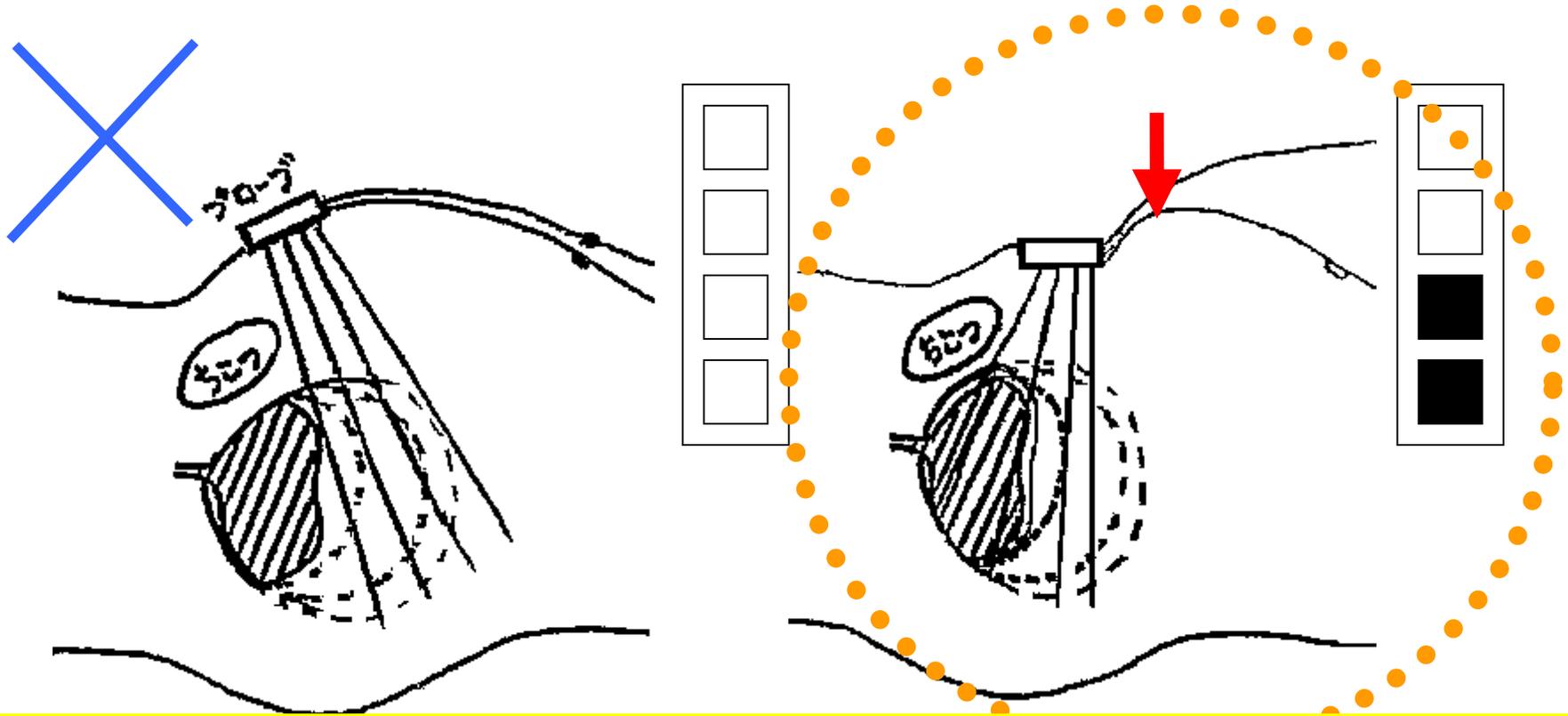
正しいプローブの位置

超音波が膀胱内の尿を捕えると□⇒■になる



- ①一番下の口が■に変化する所が最適
- ②数値の点滅中は、プローブを動かさない

プローブの当て方

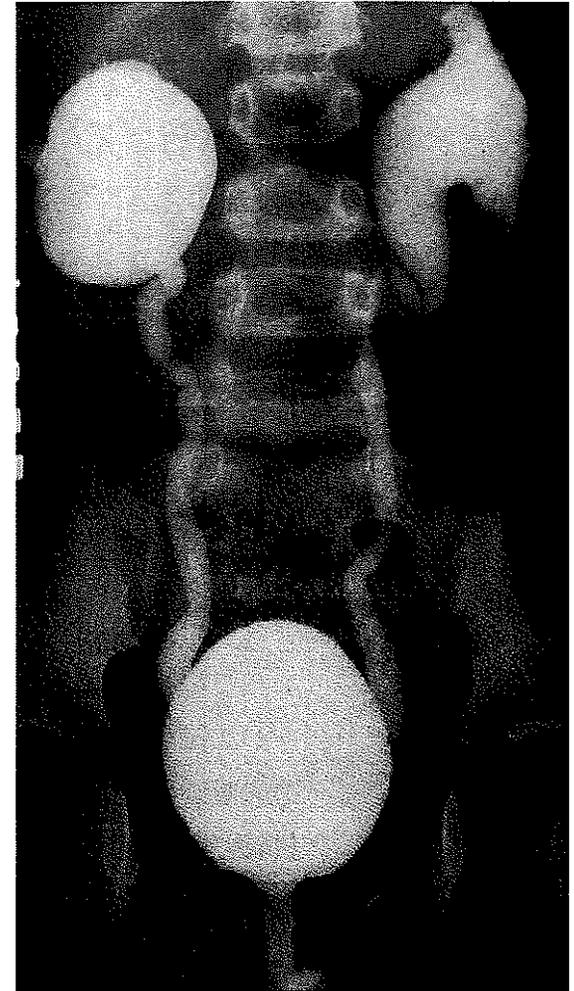
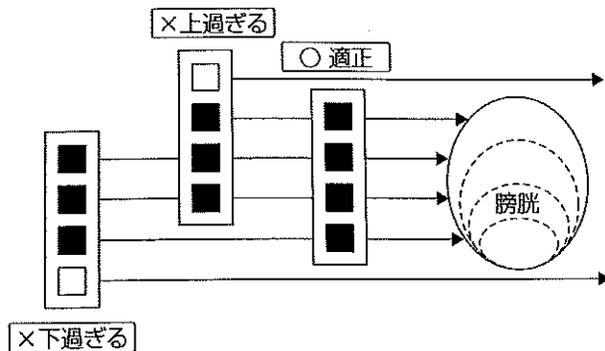


体型・姿勢によっては、超音波が膀胱に当たらない為、測れません。
プローブは膀胱と平行。一番下の超音波が恥骨に遮られない可能な限り下。
数値が小さくならない程度に押し付ける。

尿量 最大(逆流)

膀胱内に多量の尿がある時は、可能な限り膀胱の下の部分から超音波が当たる様にプローブを当てる。プローブを下げ過ぎると超音波が恥骨に遮られます。一番下の口が■に変化する所が最適位置です。下過ぎると恥骨に超音波が遮られて□です。

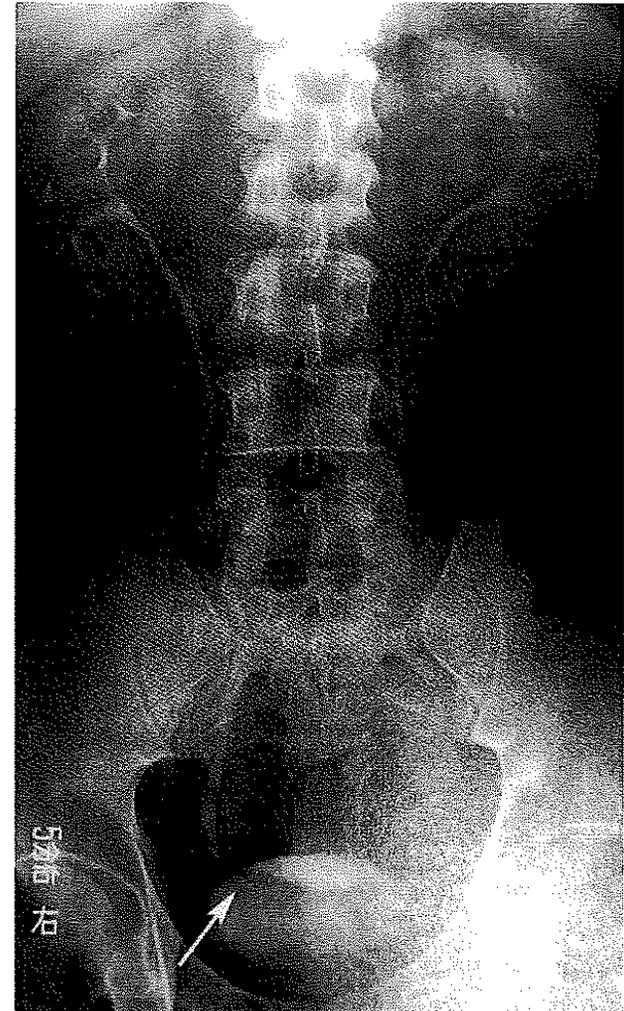
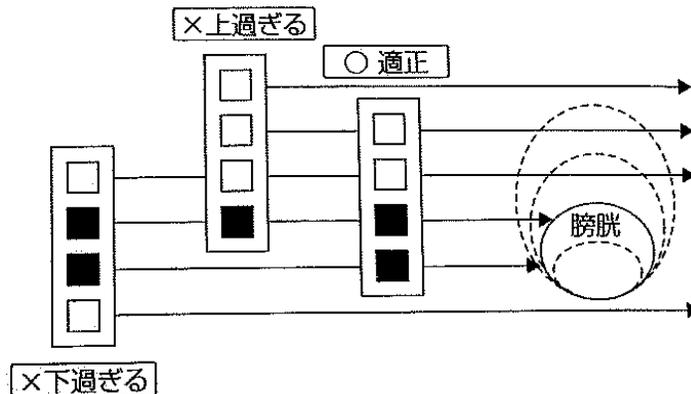
定位置(正中線上・恥骨上 男性=1 cm 女性=0.5 cm)にプローブを当て■が3~4点灯する時は、少し上下させてより多く点灯する場所で押す圧を変えて数回測定して、最大値を採用して下さい。



尿量 中

■が口に挟まれている時は、一番下の口が■に変化する所が最適位置ですが、数値的には然程、影響ありません。押す圧を変えて数回測定をして最大値を採用して下さい

(基準:正中線上・恥骨上
男性=1 cm 女性=0.5 cm)



尿量 小

■が□に挟まれている時は、一番下の□が■に変化する所が最適位置ですが、数値的には然程、影響ありません

プローブが適正位置にあっても膀胱内に尿がなければ■に変化しません。

押し付け圧を変えて数回測定をして最大値を採用して下さい。

